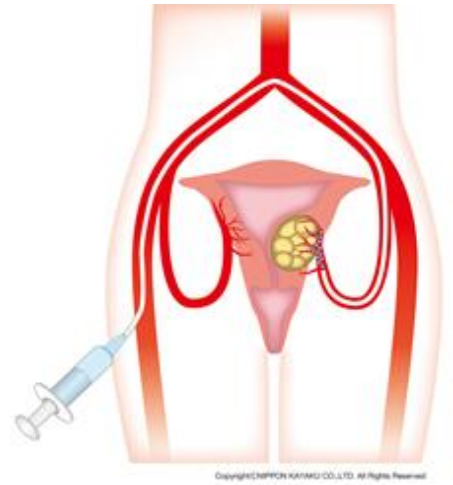


子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術（UAE）治療のご案内

海老名総合病院では子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術（UAE: Uterine Artery Embolization）を行っています。子宮動脈塞栓術（以下、UAE）は、筋腫を栄養する子宮動脈の血流を止めることで筋腫を縮小させる治療方法です。1995年にフランスで初めて報告されて以来、欧米を中心として行われている治療法です。国内で実施されている施設は多くはありませんが、2014年保険適応となり、保険診療にてUAE治療を行うことができます。

診療は婦人科と協力して行っていますが、UAE治療は血管内治療を専門とする放射線科医（IVR医）が血管造影室にて行っています。局所麻酔下で、太ももの付け根の動脈からカテーテルという道具を利用し、左右の子宮動脈までカテーテルを進めて、エンボスフィアという小さな塞栓物質を用いて、子宮筋腫の塞栓術を行います。治療は、おおよそ1時間程度です。全身麻酔の手術と比較して、局所麻酔で行うため身体への負担が少ないこと、傷跡がほとんどないこと、入院期間が短いことが利点として挙げられます。



適 応

当院では以下のような条件の子宮筋腫に対してUAE治療を行っています。

- ・子宮筋腫と診断され、筋腫による過多月経、貧血や圧迫症状などの自覚症状を認める。
- ・内科的な治療での症状改善が得られない。
- ・閉経前であり、妊娠していない、将来妊娠を希望しない。
- ・子宮体がんや子宮頸がんといった悪性の病気や骨盤内に炎症などの病気がない。
- ・外科的な手術（子宮摘出術、筋腫核出術）を希望しない。
- ・他の併存症や合併症などのため、外科的な手術が難しい。

治療の流れ

【 外来⇒入院 】の流れ

問診、MRI検査、血液検査、40歳以上の方は婦人科検診（子宮体がん、子宮頸がん）などの情報が必要です。他施設での検査結果がある方はご持参ください。また、必要に応じて、当院での追加検査をおこなう場合もございます。それら各種検査結果より、治療の適応があると判断した場合、入院での治療となります。

【 入院 ⇒ 治療 ⇒ 退院 】の流れ

入院後は、同日あるいは翌日に治療を開始します。治療は、おおよそ1時間程度ですが、治療後には3時間程度ベッド上での安静を要します。また、治療開始後から下腹部の痛みを認めますが、鎮痛剤投与により対応致します。

入院期間に関しては治療後の経過に問題なければ、3~4日程度です。（下腹部の痛みが改善しない場合や高熱が持続する場合などは入院期間が延長することがあります。）退院後は定期的に外来に通院していただき、治療後の経過を見ていきます。

【紹介状のご用意をお願いします】

- 1 お掛かりの医療機関にて紹介状をご準備ください。
各種検査結果等がある場合は、ご持参ください。
- 2 診療予約をお取りください。
予約番号「046-234-6529」にて、「放射線科・IVR科」の予約をお取りください。
- 3 UAE 外来受診（毎週月曜日午後）
治療を担当する医師より、適応の有無、詳しい治療計画のご説明します。
- 4 UAE 治療（入院）
治療前日（または当日）に入院していただき、3～4日で退院となります。
- 5 治療後診察
定期的な経過観察を行っていきます。